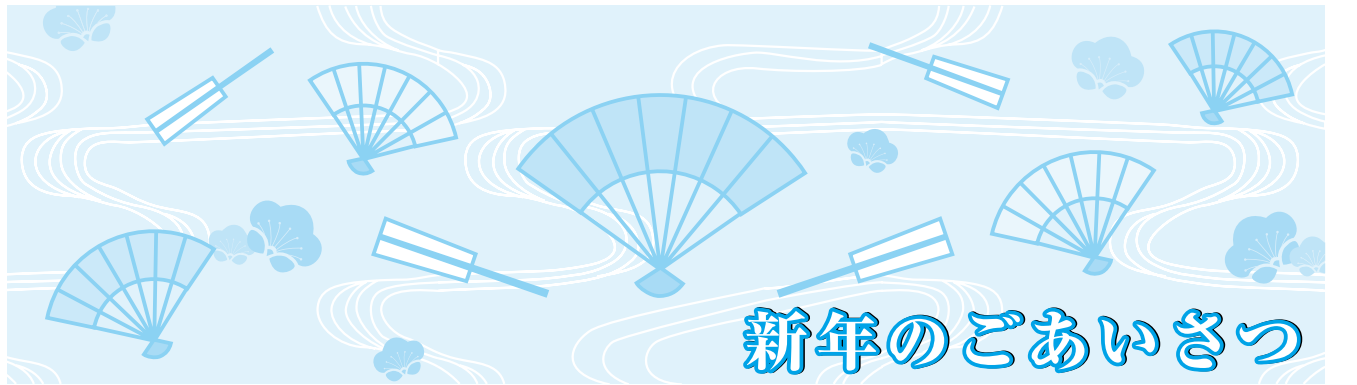




新年のごあいさつ



白石市長
風間 康静

新年明けまして

おめでとうございます

皆様には、ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

市長に就任して1年2カ月が経ち、これまで多くの市民の皆様の力強いご支援とご協力をいただきながら、市政運営に全力を傾注することができました。心から御礼申し上げます。

我が国は人口減少社会を迎え、社会・経済など全ての面において変革の必要性が叫ばれ、新たなシステムの構

安全・安心に暮らせる まちづくり

築が求められています。

また、地方においては三位一体改革により補助金の削減による税源移譲が進む反面、地方交付税制度の見直しなど、財政環境はますます厳しい状況が続くものと思われま

す。このような中、昨年は、指定管理者制度の導入とその支援策としての白石市きらめき推進事業の活用により、各地区の実状に合わせた特色ある地域づくりを、地域の皆様の手によって進めることができました。

また、白石城開門10周年事業として、実行委員会の方々と多くの市民の皆様のご協力により「白石城御前試合」「白石城・夏の祭典スペシャル」「甲冑若武者登城」など新たなにぎわいを創出し、本市の伝統と文化を県内外に広く発信することができました。

そのほか、予想される宮城県沖地震などへの対策として、各地域で防災懇談会を開催しながら、全戸に防災ハザードマップを配布し、危険箇所や避難所などを再確認することにより防災意識の向上を図ってまいりました。



白石市議会議長
高橋 忠夫

市民の皆様、 あけましておめでとうございます

ご家族おそろいで輝かしい新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。日ごろから市議会に温かいご理解と絶大なご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、市民と行政が共に汗を流し、次世代を担う子どもたちを育て、誰もが生きがいを持つことができるよう、「共汗・共学・共生」をキーワードに、「市民総参画によるふるさと共創」を旨とする、第3次行政改革、市組織機構の再編、各地区まちづくり協議会などが指定管理者となり32施設の管理運営、市民バス「きやっするくん」の運行、全自治会での地域防災懇談会、地域コミュニティ育成事業、地域活性化支援のきらめき推進事業などが実施され大変有意義な年でありました。

また、市議会では、前年に引き続き議会改革調査特別委員会による「議員



▲10月から11月に全部の自治会で開催された防災懇談会

本年も、市政の基本理念は「共汗・共学・共生による心豊かなふるさと白石」の実現であり、市民の皆様と喜びを分かち合いながら、手を携え共にまちづくりを進めてまいります所存であります。

まず、安全安心なまちづくりとしまして「しろいし安心メール配信サービス」を開始してまいります。

携帯電話のメール配信サービスを利用し、火災・地震などの災害情報を早急に伝えることによって、地域の防災力を高めてまいります。また、保育園、幼稚園、小中学生の保護者への不審者情報の提供をリアルタイムで配信し、行政と市民が情報を共有することにより地域の防災、防犯意識を高め、子どもたちの安全確保に努めてまいります。さらに、共働き世帯の放課後児童対策として「放課後児童クラブ事

定数等の調査」、議会運営委員会による「議会運営に関する諸問題調査」を実施し、議会の活性化と市民に分かりやすい開かれた議会づくり、さらに、都市計画道路「沖の沢郡山線」の事業推進の要望活動など、市民の理解と市政発展に尽くしてまいります。

我が国の経済状況は、明るさが見え始めたとはいえ、当地域は依然として低迷を続けております。これら打開のため政府は、構造改革に着手し、三位一体の改革により地方交付税、補助金の減額が実施されております。

このようなときこそ、市民の総力を挙げ、知恵を出し合いしっかりと対応することが重要であります。議会としては、議員各位のパワーを結集し、さらに議会の活性化を推進し、環境、福祉、産業、教育文化などの分野において、市民が「安全・安心に暮らせるまちづくり」にしっかりと対応するため、議員一同決意を新たにしております。

市民の皆様におかれましては、今後とも格別なご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年も、皆様にとりまして幸多き年でありま

すよう議員一同ご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



▲南中学校の校舎改築は平成20年完成予定

白石市博物館構想については、昨年、白石市博物館建設構想委員会から答申を受けるとともに、市内に現存する文化財の総合調査をした結果、多くの貴重な文化財が残っていることが判明し

業」の充実を図り、できるだけ子どもたちを1人にするのがないよう、地域全体で子どもたちを育てることにより、誰もが安全で安心して暮らしている地域社会をつくってまいります。次に教育文化関係では、老朽化している南中学校を改築し、快適な学習環境を整備するため、本年は校舎などの実施設計を進め平成20年度の完成を目指してまいります。

また、市内小中学校における地震対策として、校舎および体育館の耐震補強整備を本年中に完了し、安心して学べる教育環境の確保に努めてまいります。

そのほか、都市計画道路「沖の沢郡山線」の早期完成を目指すとともに、福祉の充実や保健・医療との連携による健康寿命の延伸を図る施策を実施してまいります。

三位一体改革による地方分権の進展に伴い、市民と行政が共に考え行動し、自らの責任において、誰もが安全で安心して暮らしていくことができるふるさとをつくっていかねばなりません。

本年も、「こころ豊かなふるさと白石」の実現を目指し、白石市の明るい未来のため、精一杯市勢発展に尽くしてまいりますので、今後とも市民皆様のご支援とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして幸多き年でありま